別表第三の二

機能ID	項番	機能名称	改定種別	指定都市においてのみ実装必須機能	適合基準日
	1. 滞納整理				
	1.1. 滞納情報管理				
0158001	1.1.1.	滞納者抽出		以下の抽出条件により滞納者を抽出できること。 不納欠損対象の場合、欠損事由での抽出ができること。 抽出結果は、滞納者情報管理画面への展開・各機能の一括処理・各帳票の一括出力ができること。 ＜抽出条件＞ 行政区名称 行政区コード 市税事務所	令和８年４月１日
0158002	1.1.2.	担当者設定		滞納管理システムで扱う課税対象者には、行政区、市税事務所が自動で設定されていること。行政区、市税事務所は自由に作成できること。 宛名情報（住居）異動があった場合、行政区、市税事務所が自動・手動で異動できること。	令和８年４月１日
0158003	1.1.3.			滞納者ごとに行政区、市税事務所を個別・一括で管理（設定・保持・修正）できること。 滞納者抽出結果をもとに、行政区、市税事務所の一括設定ができること。	令和８年４月１日
0158004	1.1.4.	権限設定		他の行政区、市税事務所で管理する滞納期別について、参照できること。	令和８年４月１日
0158005	1.1.5.			他の行政区、市税事務所で管理する滞納期別について、催告、滞納処分（差押、交付要求等）の実施可否を選択できること。	令和８年４月１日
	2. 帳票出力全般				
	2.1. 帳票出力				
0158006	2.1.1.	検索条件		以下の条件で検索できること。 ・行政区指定／市内全域	令和８年４月１日
0158007	2.1.2.	各種帳票作成		執行機関（処分庁）について、区長名を選択できること。	令和８年４月１日
	3. 帳票出力全般				
	3.1. 帳票出力				
0158008	3.1.1.	内部帳票出力		各種一覧や集計表を含む内部帳票を作成する際に指定した行政区・市税事務所単位の出力及び集計ができること。	令和８年４月１日
0158009	3.1.2.	外部帳票出力		外部帳票における以下の項目について行政区・市税事務所単位での制御ができること。 ＜対象項目＞ 処分庁名（通知者） 公印 問合わせ先	令和８年４月１日